報道機関各位
2017 年 8 月 25 日

公益財団法人 日本対がん協会
リレー・フォー・ライフ・ジャパン横浜実行委員会

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 横浜」

～ 新横浜大会とみなとみらい大会が統合して再出発します！ ～
2017 年 9 月 30 日（土）12 時～10 月 1 日（日）12 時
臨港パーク 芝生広場（みなとみらい 21 地区、横浜市西区みなとみらい 1-1-1）

― 開催概要決定！―
9 月 3 日（日）14 時～かながわ労働プラザ（L プラザ）で説明会を開催します!!

「命を讃え、子供たちの輝く未来に」
がん征圧・患者支援のチャリティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン」。がん患者さんやそのご家族を支援し、地域全体でがんと向き合い、がん征圧をめざすチャリティー活動です。
2016 年は新横浜とみなとみらいの 2 か所で大会が開催されましたが、2017 年はこの 2 つが統合し「横浜大会」として再スタートします。新たなスタートとなる横浜大会。9 月 30 日～10 月 1 日に行われる 2017 年大会は、みなとみらい 21 地区の臨港パーク芝生広場での開催が決まりました。
大会に先立ち、説明会を 9 月 3 日（日）14 時から、神奈川県立かながわ労働プラザ（L プラザ/横浜市中区寿町 1-4 ※JR 石川町駅北口・中華街口から徒歩 3 分）で行います。リレー・フォー・ライフ自体の紹介に加え、横浜大会の特徴や会場について説明いたします。参加を迷われている方も歓迎です。
主催は公益財団法人日本対がん協会、リレー・フォー・ライフ・ジャパン横浜実行委員会。
神奈川県、横浜市との共催のもと、地域住民のがんに対する理解・関心の向上や啓発の為、治療方法やがんとの向き合い方等、様々な視点から「がん」と接することができる 24 時間イベントです。
※2017 年は全国 49 か所で開催される予定です。

（写真：2015 年の
みなとみらい大会）

今年の横浜大会の 4 つの大きな柱は以下のとおりです。

1.リレー・ウォーク

がんと闘っている方と共に 24 時間交代で歩き続けることでがんに向かう勇気や生きる感動を共有します。24 時間開催する理由には、「がんは 24 時間眠らない」「がん患者は 24 時間闘っている」という意味です。がん患者もそうでない方も、子どもから年配の方までどなたでもご参加いただけます。年に 1 回集まり、勇気を称え励まし再会を喜ぶ場になっています。有志でのチーム参加をはじめ、お一人でのご参加、短時間や夜中だけのご参加も大歓迎です。現在、参加者を募集中（事前申し込み無しで当日参加も可能です）。

２.ルミナリエ

残念ながらがんで亡くなった方を偲び、現在がんと闘っている人たちへの応援メッセージ等を託したルミナリエバッグをウォークコースや会場内に飾ります。明かりが灯された沢山のルミナリエバッグの美しさと、それらに書かれたメッセージに胸を打たれます。このルミナリエバッグは 1 枚 500 円からお渡ししています。事前配布もしていますし、当日会場で書くことも可能です。夕刻からは、追悼と明日への希望のセレモニー「エンプティ・テーブル」も行われます。

３.啓発

現在企画中ですが、わかりやすい内容で、意見交換等ができるような啓発プログラムを予定しております。

※すべての啓発講演に手話通訳がつきます。また、啓発活動を行うチームのテントには筆談用ホワイトボードを置き、会場内には手話ボランティアを配します。

４.キャンドルラン

1985 年、一人の医師が競技場を 24 時間走り続け、アメリカ対がん協会への寄付を募ったことから生まれたリレー・フォー・ライフ。横浜大会では、横浜みなとみらいの夜景を目の前にラン用のコースを設けますので、潮風を感じながらの夜景＆キャンドルランを楽しむことができます。

ランは夜 20 時から翌朝 8 時まで 12 時間実施します（時間は予定）。チームでのリレーやご家族でのご参加をはじめ、おひとりで完走される方もいます。

～啓発・ステージプログラム他～（8 月 25 日時点）※9/30 及び 10/1 のタイムスケジュール調整中

【啓発】

・講演①佐々木 治一郎 先生（北里大学病院集学的がん診療センター センター長）
　※テーマ「プレシジョン・メディシンって何？：分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬の選び方」
・講演②田部井 一世 様（医療財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院 乳がん看護認定看護師）
　※テーマ未定
・講演③皆川 明子 様（ろうのがんサバイバー） ※テーマ未定
・のの字の歌体操（乳がんリハビリ＆自己検診体操） ほか

【全員参加型アクティビティ】（予定）

参加者同士の交流のきっかけとなるようなアクティビティを計画しています。

【ステージ等での企画】（予定）

・横浜市立蒔田中学校（吹奏楽）
・音家族（バンド）
・どらくろわ（紙芝居）
・チーム蓮（バンド）
・ホッピー神山（キーボード演奏）
・耳なしフランケン（フォークソングデュオ）
・田中和義＆T Street Band（バンド）
・Crime of Charlie(ｸﾗｲﾑ･ｵﾌﾞ･ﾁｬｰﾘｰ)（ロックバンド）
・シンギングリン＆祈りのフラダンス
・エンエン＆SKY（バンド）
・ムーラン～リライフバンド～（バンド）
・TSUBO-KEN（Sax 演奏）
・神奈川県エアロビック連盟（エアロビック体操）

今年は、啓発プログラム用のテントを設け、サバイバー（がん経験者）の方々だけではなく、フィールドを歩く多くの参加者を励まし、楽しんでいただけるよう様々なプログラムを予定しています。

24 時間という長時間にわたるイベントですが、いつでも食事や休憩をとれるようなスペースを設けます。その他、各種ワークショップ企画やオフィシャル及びオリジナルチャリティグッズの物販等も予定しています。

皆さまからの参加費だけではなく、飲食やワークショップ、物販等の売り上げの一部も寄付になり、がん医療研究助成や患者支援、検診の啓発、若手医師育成奨学金、がん相談ホットライン(電話、面接)事業に役立てられます。

がん患者さんやそのご家族、医療従事者だけではなく、地域の皆さまにもご参加いただき、社会全体でがんを知る、そしてがんに立ち向かう勇気や生きることへの喜びを共有することで、「がんに負けない社会」を目指します。是非、命について考えるチャリティイベントに、皆さまが足を運んでいただきますことを願っております。

報道関係各位におかれましては、事前告知として、記事等でご案内いただきましたら幸いです。また、是非当日のご取材もお待ちしております。なお、当日ご来場の際には、会場内の受付にお立ち寄りくださいますよう重ねてお願い申し上げます。

記

【リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 横浜　開催概要】

■日時：2017 年 9 月 30 日（土）12 時～10 月 1 日（日）12 時
■場所：臨港パーク 芝生広場（みなとみらい 21 地区、横浜市西区みなとみらい 1-1-1）
■交通：横浜高速鉄道みなとみらい線「みなとみらい駅」より徒歩 5 分、JR 京浜東北・根岸線「桜木町駅」より徒歩 15 分
■参加料：1 人 1,000 円（寄付になります）　＊高校生以下とがん経験者（サバイバー）は無料
■主催：公益財団法人 日本対がん協会、リレー・フォー・ライフ・ジャパン 横浜実行委員会
■共催：神奈川県、横浜市
■後援：厚生労働省、神奈川新聞社、ソニー生命保険株式会社、医療財団法人神奈川県警友会けいゆう病院、日本赤十字社神奈川県支部、神奈川県がん撲滅をめざす議員連盟、がん撲滅横浜市会議員連盟、一般社団法人横浜市医師会、公益社団法人神奈川県医師会、公益社団法人神奈川県病院協会、一般社団法人横浜市歯科医師会、ｔｖｋ、横浜市教育委員会、公立大学法人横浜市立大学、かわさき市民放送株式会社、社会福祉法人横浜市社会福祉協議会ほか
■特別後援：アメリカ対がん協会

****

【リレー・フォー・ライフ(RFL)とは】

1985 年、アメリカで一人の外科医が、がん患者の勇気を称え、支援するために走ったことから始まりました。その後、参加者がリレー方式で夜通し歩きながら寄付を募る形式で定着し、現在は全米約 5,500 ヵ所、世界 25 カ国で開催されています。日本国内では、2006 年 9 月、茨城県つくば市で始まり、2017 年は全国約 49 か所での開催を予定しています。

RFL で寄せられました皆さまからの寄付は、日本対がん協会を通して、広くがん征圧活動（がん医療研究の助成金、がん検診率向上活動、若手医師育成奨学金、がん電話相談など）に役立てられています。

【公益財団法人 日本対がん協会のプロフィール】

日本対がん協会は1958年（昭和33年） ８月、がんの早期発見や早期治療、生活習慣の改善によって、「がん撲滅」を目指そうという趣旨で設立されました。

大きな柱は、がんの知識普及・啓発と、がん患者・家族の支援事業です。専門医による「がん無料面接相談」を開くほか、がん専門医による事前予約制の電話相談、専門看護師や社会福祉士による無料電話相談「がんホットライン」を実施しています。その他、研究助成や検診推進活動など、団体、企業、個人の支援により、「がん対策運動の推進母体」として、様々な活動を行っています。

【リレー・フォー・ライフ・ジャパン横浜実行委員会のプロフィール】

新横浜実行委員会とみなとみらい実行委員会が統合し、2017 年「横浜実行委員会」として再スタートしました。新横浜実行委員会は 2008 年にスタートし、これまでに計８回（2012 年を除く）、日産フィールド小机（新横浜）にて、みなとみらい実行委員会は 2013 年にスタートし、昨年までの計４回、臨港パーク（潮入りの池）にて開催してまいりました。

実行委員会はボランティアによる任意組織で、がんサバイバーや医療従事者、一般会社員や学生等、様々なメンバーで構成されています。

【お問合せ・お申込み】

リレー・フォー・ライフ・ジャパン横浜実行委員会
〒231-0023 横浜市中区山下町 211-4-902（中田方）
TEL:090-7901-8718 FAX：045-225-0051
ホームページ：http://relayforlife.jp/yokohama/
Facebook：https://www.facebook.com/RFLjyokohama/

内容・取材に関するお問合せは下記までご連絡ください。

リレー・フォー・ライフ・ジャパン横浜実行委員会 担当：竹生（たけお） 和子
TEL:090-6022-4687 FAX：045-225-0051
E-mail:okazu53@gmail.com

灯されたルミナリエバッグ

足元を照らし、リレーし続ける人を励まし続ける、沢山のルミナリエバッグ。

がんで亡くなった人を偲び、がんと闘っている人を応援する思いと言葉が詰まっています。

このルミナリエバッグの売り上げも寄付（1 枚 500 円）となります。皆さまの思いも是非書きつづって下さい。

（写真：2016 年の新横浜大会）

添付資料 1.
講演プログラム・講演者プロフィール（敬称略）

●佐々木 治一郎（ささき じいちろう） （北里大学病院集学的がん診療センター センター長） 1964 年生まれ、1991 年熊本大学医学部卒、日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医。熊本大学医学部第一内科での勤務を経て 2000 年～2003 年米国 MD アンダーソンがんセンターで肺がん基礎研究に従事。2007 年熊本大学医学部附属病院がん診療センター長就任を契機に、熊本県のがん診療地域連携やがんサロンの普及活動に従事。2011 年北里大学医学部へ異動し、2014 年 2 月より現職。細胞株研究から緩和ケア専門外来まで、「がんの治癒」と「患者さんの自分らしさの確保」を目指して、研究・教育・診療にあたっている。	
●皆川 明子（みながわ あきこ） 11 年前に胸のしこりに気がつきながらも父の看病などで受診を後回しに…ようやく受診したら、ステージ３の進行性がんで、皮膚とリンパ節転移と告げられた。術後 10 年目、再発転移もまだなく、今を生きてます。どのように治療を選択し、治療が行われたのか、医療従事者とのコミュニケーション方法について、お話したいと思います。 生まれつきろうあ。ろうの主人と娘の３人家族。 ステージ３の進行性乳がん 10 年生で経過観察中、幻となった町田ＲＦＬでろうのがんサバイバーとケアギバーが集まる “がんば聾” チーム発足。	